

平成29年度兵庫県（西宮市）地域社会柔道指導者研修会

期 間	平成29年8月2日（水）～4日（金）
場 所	兵庫県立総合体育館 格技場
参加者	14名（男性12名、女性2名）
派遣講師	山崎 俊輔 八段（全日本学生柔道連盟副会長） 鮫島 康太 五段（全日本柔道連盟指導者養成委員会）

概 要

本研修会は、中学校武道授業特化型として実施され、中学校教諭8名、高校教諭4名、小学校教諭1名、特別支援学校教諭1名の計14名が参加した。有段者は少なく、半数以上の教員が柔道を専門としない教員であった。

1日目は開会式終了後に「日本武道協議会設立四十周年記念中学校武道必修化指導書」の付属DVD「中学校武道必修化指導書映像集」第一巻が上映され、参加者の武道の歴史と特性への理解が深められた。その後、鮫島講師による柔道の歴史、安全な柔道授業の実施、評価方法についての講義を行った後、実技指導に入り、山崎講師より、授業の導入部分に役立ち、柔道の基本を学ぶことのできる体ほぐし・気持ちほぐし運動が6種類紹介された。

午後は後ろ受け身・横受け身について指導した後、スモールステップの考え方に基づいた安全な投げ技（膝車、体落とし、支え釣り込み足）の指導法が紹介され、道場の畳の清掃方法についての説明をした後、1日目は終了となった。

2日目は、初日の受け身・投げ技の復習を行った後、前回り受け身の説明と参加者による指導練習が実施された。投げ技（大腰、背負い投げ、一本背負い投げ、釣り込み腰、大内刈り、小内刈り、大外刈り）、連絡技、固め技（袈裟固め・横四方固め・上四方固め）の指導練習の後、審判法の解説・実技指導が行われた。審判規定についての解説の後、講師による実演を参加者が判定し、4人1組のグループで審判の練習、タイマーの使用の体験がなされた。

最後に鮫島講師によるリオデジャネイロオリンピックでの柔道についての解説、同大会の映像を用いた審判の練習、全日本柔道選手権大会の形の映像紹介があった。

最終日は、準備運動を行った後、受け身・投げ技・固め技の復習を行い、投げの形（浮腰、背負い投げ、肩車）の練習、実演発表が行われ、閉会式の後、研修会は全日程を終えた。

参加者の声

- ・生徒が主体的・対話的に学ぶには、私たちの工夫がとても大事であることに気付かされました。（養護学校教諭）
- ・授業の選択の際に柔道を選択する女子生徒がいるため、意識が変わってきていると感じた。（高等学校教諭）

